

# 令和5年度 支部保険者機能強化予算の 実施結果

## 令和5年度支部保険者機能強化予算の執行実績

	主な取組	予算額	執行額	執行率
医療費適正化等予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年層を対象としたジェネリック医薬品の使用促進</li> <li>・ 健診後の行動の重要性に関するインターネット広告</li> </ul>	6,474千円 <i>(11,308千円)</i>	4,919千円 <i>(8,894千円)</i>	76.0% <i>(78.6%)</i>
保健事業予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診に係る集団健診</li> <li>・ 前年度特定保健指導対象者向け健診前勧奨</li> <li>・ 検診車における特定保健指導の遠隔分割面談</li> <li>・ とやま健康企業宣言に係る普及啓発</li> <li>・ 睡眠習慣の改善に向けた取り組み</li> </ul>	42,963千円 <i>(44,589千円)</i>	32,627千円 <i>(25,649千円)</i>	75.9% <i>(57.5%)</i>
※ 括弧内は前年度		49,437千円 <i>(55,897千円)</i>	37,546千円 <i>(34,543千円)</i>	<b>75.9%</b> <i>(61.8%)</i>

# 主な取り組み① 若年層を対象としたジェネリック医薬品の使用促進

## 事業概要

- 他年齢層と比較してジェネリック医薬品使用割合が低い5～14歳の子供を扶養している被保険者に対して通知を送付。

費用（予算額）

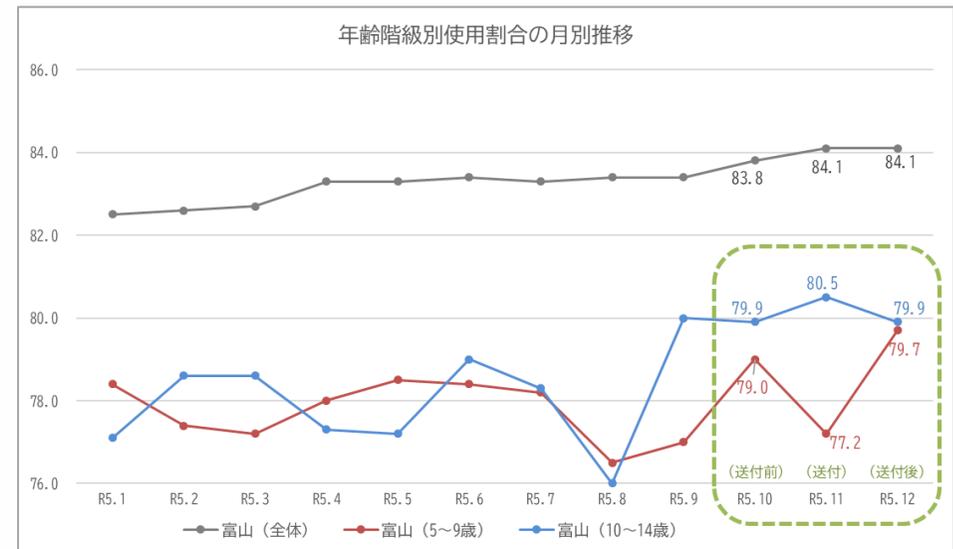
545千円（1,276千円）

## 実施結果

- 送付対象被保険者数：21,206名
- 送付時期：令和5年11月初旬
- 通知送付前（10月）と送付後（11月・12月）の使用割合はグラフ・表のとおり。  
なお、本事業の寄与度は不明である。

※（）内の数値は10月【送付前】との比較（％）

	5～9歳	10～14歳
R5.10【送付前】	79.0	79.9
R5.11【送付】	77.2 (-1.8)	80.5 (+0.6)
R5.12【送付後】	79.7 (+0.7)	79.9 (±0)



# 主な取り組み① 若年層を対象としたジェネリック医薬品の使用促進

## 実施結果

- 開封率が上がるよう、通知の仕様は圧着DM（見開きA3サイズ）とした。
- また、ジェネリック医薬品だけでなく、子ども医療費助成の仕組み等も盛り込み、医療費適正化全般に関する啓発につながる内容とした。

(表面)

**料金後納 郵便**

**お子さまの 未来の医療を守るため いまできること**

**ジェネリックのお話です。**

全国健康保険協会 富山支部 協会けんぽ

〒930-8561 富山県富山駅前1-15-15 アートと学舎ビル TEL:076-431-6106 https://www.kyokai.or.jp/a/910/kyosai

(中面)

**窓口負担無料 ≠ 医療費無料**

お子さまの医療費は、市町村が行う子ども医療費助成制度により、概ね15～18歳までは自己負担額が生じません。しかし、実際にかかった医療費は、皆さまが負担する健康保険料や税金から支払われています。「無料だから」と気軽に受診を重ねると、結果として「健康保険料の引き上げ」や「増税」というかたちで皆さまのご負担が増加してまいります。

みなさまの税金から補助しています。 **市区町村の補助 2割** (小学校入学年度は3割)

みなさまの保険料から負担しています。 **協会けんぽの補助 8割** (小学校入学年度は7割)

0歳～小学校入学年度前 **2割** を負担 (小学校入学年度は3割)

0歳～小学校入学年度前 **8割** を負担 (小学校入学年度は7割)

**若年代の負担上昇を抑える**

医療費が「無料だから」という理由でお子さまの世代の使用割合が低いものにジェネリック医薬品があります。ジェネリック医薬品は、先発品と効き目や安全性が同等と認められた医薬品です。

**ジェネリック医薬品の使用は日本の医療保険制度の維持につながります**

もし、協会けんぽの加入者の皆様がジェネリック医薬品に切り替えて使用割合が100%になった場合 **合計 4,800億円** の医療費の軽減が見込めます。

※加入者がジェネリック医薬品を多く使用していった場合の医療費と比べてのジェネリック医薬品を使用した場合の医療費の差額を計算したものです。

**イメージ**

全世帯 先発品 使用 約4,800億円

全世帯 ジェネリック医薬品 使用 約4,800億円

**【医療費の増減】**

高齢化や医療の高度化などにより、医療費は年々増加しています。このまま増え続けると健康保険料もますます上昇し、将来の世代にとつて大きな負担となります。お子さまが安心して医療を受けられる未来を守るために、ジェネリック医薬品の使用についてご理解ご協力をお願いします。

**もっと飲みやすく、手軽に**

ジェネリック医薬品は患者さんや医療関係者の声を活かし、先発医薬品より飲みやすく工夫されているものもあります。

- 飲みみ コーティング
- 小型化
- ザラつき感を抑える
- 水なしでも飲める

マスキング技術で飲みやすく 成分は同じで お子さまに小さく COE (口内滞留率)に

**医薬品の効き目は同等です**

品質、効き目、安全性の新しい試験をクリアしています。

先発品 有効成分 副作用 薬価

ジェネリック医薬品 有効成分 副作用 薬価

同じ有効成分 副作用も同じ 薬価も安い

選んでいる薬の効き目は同じ

ジェネリック医薬品の有効成分や副作用は先発品と同等です。品質もジェネリック医薬品

**ジェネリック医薬品の供給について**

ジェネリック医薬品を処方してもらうには?

医師または薬剤師にご相談ください。

現在一部のジェネリック医薬品におきまして、供給不足や欠品が生じており、切り替えを希望されておられる場合があります。切り替えを希望される方は、医療機関や薬局よりご相談ください。

※ジェネリック医薬品は先発品との成分が同じです。薬の効き目、副作用の有無、用法用量は先発品と同等です。副作用が患者さんや医師、薬剤師にジェネリック医薬品の使用の必要の認識が広がるとともに、変更された場合があります。

(注)このお知らせは、令和5年9月時点で全国健康保険協会富山支部に加入されている方のうち、今年5歳～14歳になるお子さまを扶養されている方にお送りしています。

実は無料じゃない!? お子様の医療費の仕組みをお伝えします。

## 主な取り組み② 健診後の行動の重要性に関するインターネット広告

### 事業概要

- 要治療者の医療機関受診率向上のため、健康診断受診後の行動の重要性について理解促進を図り、行動変容を促すことを目的としたインターネット広告を実施。

費用（予算額）

3,300千円（3,300千円）

### 実施結果

- 配信媒体：YouTube、各種SNS（LINE・Instagram・Facebook）、Google提携先サイト内
- 広告配信期間：令和5年9月～10月
- 委託業者による集計では、広告視聴者数は富山県の人口の55%にあたる約54万人であり、1人あたり平均視聴回数は約12回であった。（一般的に10回視聴すると認知されるといわれている）  
バナー広告のリンク先も兼ねて支部のYouTubeチャンネルに掲載した15秒動画の再生回数は23万回となっている。

- 広告手法①：YouTube等での動画広告（15秒）

健診結果が出たときが、自身の健康を左右するターニングポイントとなることを簡潔に表現するため、インパクトのあるデザインとした。



# 主な取り組み② 健診後の行動の重要性に関するインターネット広告

## 実施結果

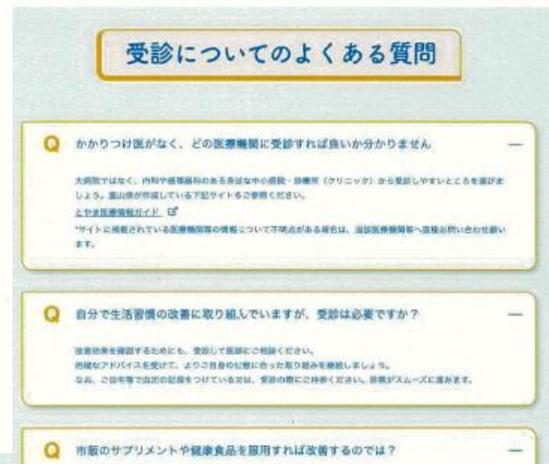
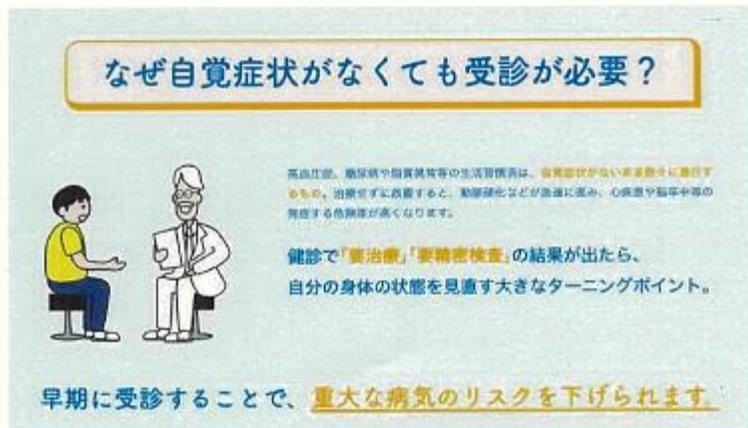
### ● 広告手法②：バナー広告・特設ページ

- ・バナーは動画と同コンセプトのイラストのほか、家族から受診を促す契機となるよう、家族写真を用いたデザインも作成。
- ・特設ページは、実際に加入者から寄せられた「受診しない理由」を踏まえ、自覚症状がなくても受診が必要な理由や、よくある質問を掲載し、閲覧者が自分事として認識するよう内容を工夫した。

バナーデザイン



特設ページ（抜粋）



## 主な取り組み③ 特定健診に係る集団健診

### 事業概要

- 被扶養者向けの特定健診において、県内各市町村及び健診機関と連携し、自己負担無料の集団健診を実施する。

費用（予算額）

6,539千円（7,489千円）

### 実施結果

- 実施回数を令和4年度比55回増の172回とした。特に、40歳以上の被扶養者数が多い富山市での実施回数を重点的に増やした。
- 利便性を高めるため、47会場でがん検診との同時受診を可能とした。また、オプション検査（一部会場で実施）の内容を充実させ、昨年度実施した骨粗しょう症検査のほか、血管年齢検査と大腸がん検査を追加した。
- 昨年度と同様、健診会場において特定保健指導の初回面談を実施し、特定保健指導実施率の向上を図った。

実施回数	受診者数	特定保健指導対象者数	特定保健指導実施者数	特定保健指導実施率（※）
172回	2,617人	256人	210人	82.0%

（※）健診会場での面談実施率

# 主な取り組み④ 前年度特定保健指導対象者向け健診前勧奨

## 事業概要

- 前年度の特定保健指導対象者に対し、減量目標値等を記載した文書（圧着ハガキ）を送付し、次の健診までに自ら生活習慣改善のための健康行動を実践することを啓発する。

費用（予算額）

959千円（1,848千円）

## 実施結果

- 送付数：21,794件（毎月約2,000件）
- 毎年同時期に健診を受診する方が多く、健診前に健康意識が高まることを想定し、送付時期は健診受診月の3か月前とした。
- ハガキの内容について、健康意識が一層高まるよう、減量目標値を具体的に示した。（減量目標値が3kg以下の対象者）また、インパクトのあるイラストを使用した。

ハガキイメージ(減量目標値あり)

郵便はがき

（水濡れ時はよく乾かしてからお開きください）

このお知らせは、昨年受診された健診結果において、特定保健指導の基準に該当した方(メタボリックシンドロームの方)にお送りしています。

次回の健診結果に変化がなかった場合、昨年同様に特定保健指導の対象となり、協会けんぽからお勧め先へ特定保健指導のご案内をさせていただく場合があります。

前回の健診結果より、あなたは  
**あと 1 kgの減量で  
メタボから脱出できます!**

(腹囲-約 1 cm減少)

あなたの体重/腹囲  
61.9 kg / 90.5 cm

1 cm ≒ 1 kg

**生活習慣病予防について**

生活習慣病は放っておくと  
**脳卒中や心筋梗塞などの合併症を  
引き起こす可能性があります。**

食事に関しては、特に下記の行動は控えましょう。

大盛り・おかわり 野菜がない食事 夜遅い飲食

専門職の監督下以外での、  
過度な糖質制限やダイエットは避けましょう。

あなたとあしたへつづく、健康を。  
**けんぽのいっぽ!**

あともういっぽ!

メタボの方のうち…  
**毎年3人に1人が  
メタボから脱出しています。**

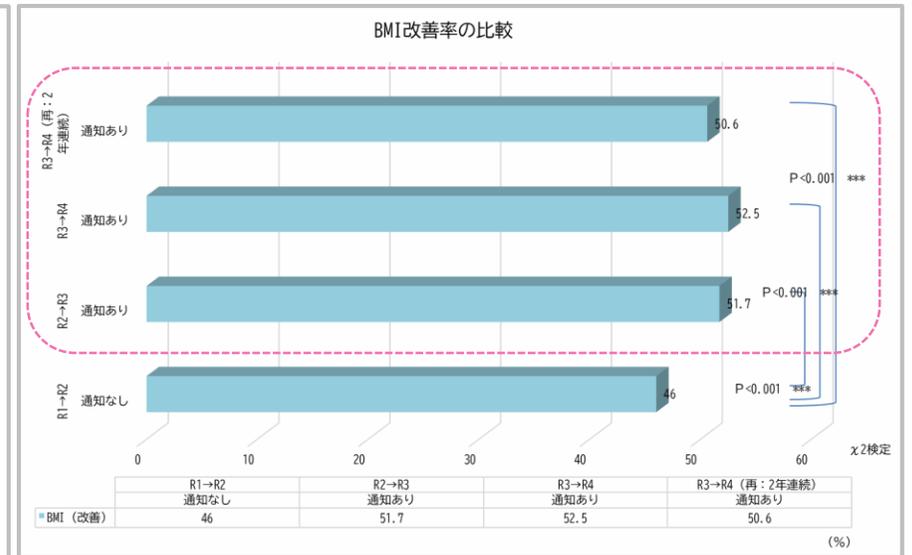
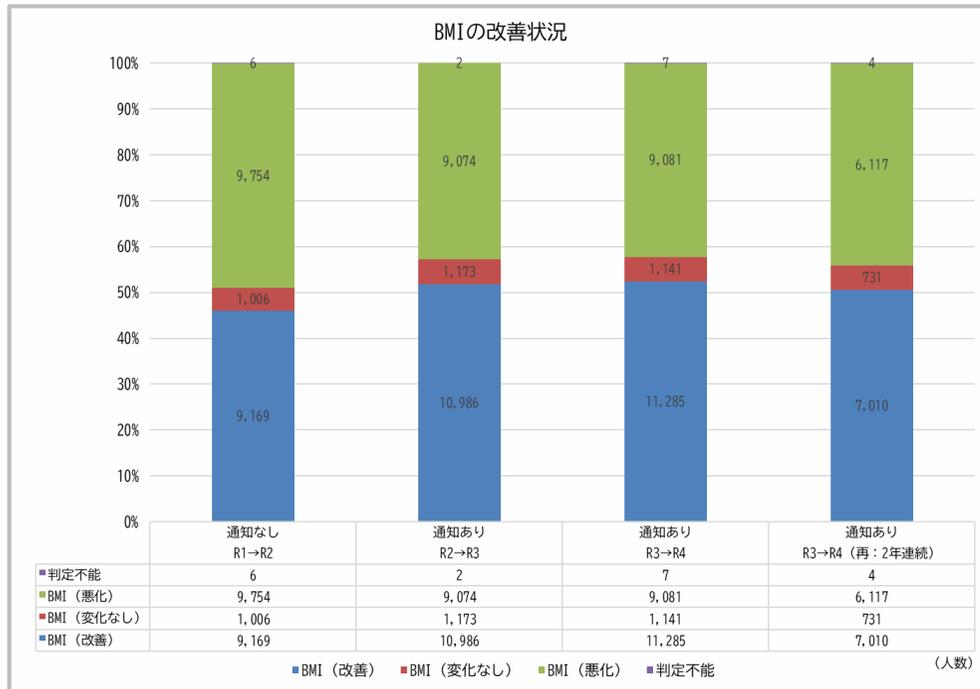
健康づくりに関する  
情報を配信しています▶▶▶

いっぽくん

# 主な取り組み④ 前年度特定保健指導対象者向け健診前勧奨

## 実施結果

- 令和元年度～令和4年度健診結果を使用して検証したところ、BMIと腹囲について、通知を送付した者の改善率が有意に高かった。（下図はBMIに関する詳細）



χ2検定の結果から、通知ありの改善率が有意に高いといえる。

# 主な取り組み⑤ 検診車における特定保健指導の遠隔分割面談

## 事業概要

- 検診車による健診と同時に特定保健指導を効率的に実施するため、遠隔（リモート）面談を行う機器を会場に設置するとともに、特定保健指導専門機関による初回分割面談を行う。遠隔面談機器の設置や対象者の面談場所への案内等の作業は健診機関に依頼するため、その作業費を協会が委託費として支払う。

費用（予算額）

2,409千円（3,960千円）

## 実施結果

- 保健指導専門機関3機関、検診車による健診及び面談案内等を行う健診機関6機関と契約締結。
- 50事業所（229会場）にて331件の特定保健指導を実施。健診機関が委託を利用せずに、自前で実施する例も見られた。
- 事業所担当者向けの説明資料のほか、従業員向け配布用資料のひな型（右図）を作成・提供し、事業実施における事業所の負担を軽減できるよう努めた。

(ひな形) 令和6年●月

〇〇 〇〇 様

〇〇〇株式会社  
全国健康保険協会岡山支部

特定保健指導実施日時のお知らせ

今年度より、定期健康診断の当日に特定保健指導の対象となられた方には、全員保健指導を受けていただくこととなります。  
対象に該当した場合は、下記日程で保健指導を実施しますので、必ずご参加ください。

日時 令和6年●月●日(●) (約15~20分)  
場所 ●●● 室

特定保健指導の実施は、●●株式会社(●●●●●)の保健師・管理栄養士により、テレビ電話にて実施いたします。  
●●株式会社は、全国健康保険協会岡山支部が特定保健指導を委託している事業者です(プライバシーマーク登録番号 第●●●(○●)号)。

【健診当日に特定保健指導の対象となる方の基準】

- ① 腹囲(男性85cm以上・女性90センチ以上)
- ② 血圧(最高130mmHg以上もしくは最低85mmHg以上)
- ③ 服薬状況(血糖・血圧・脂質を下げる治療薬を飲んでいない方)

①~③すべてに該当される方

健診当日に該当しなくても、健診後に血液検査の結果により特定保健指導の対象に該当した場合は、後日保健指導のご案内をいたしますので、必ず保健指導を受けてください。

以上

# 主な取り組み⑥ とやま健康企業宣言に係る普及啓発

## 事業概要

- 富山県、健康保険組合連合会富山連合会とともに「健康企業宣言推進協議会」を設置し、オール富山で健康経営や健康づくりを推進。支部職員等による事業所の取組支援に加え、メディアの活用等により、事業所主体の健康づくりの促進を図る。

費用（予算額） 5,864千円（8,611千円）

## 実施結果

- 令和5年度末時点  
宣言事業所数：899社（前年度末比+157社）  
Step 1 認定：422社（前年度末比+56社）
- 宣言事業所における健康づくりの取り組み事例をラジオ番組のコーナーで紹介。（毎月2回・24社出演）
- 県内主要紙に宣言事業所一覧を全面広告（右図）で掲載し、県民へ広く周知できた。
- 健康づくりの取り組み支援として、事業所掲示用のポスターや各種支援ツール（健診関係、食事、運動、禁煙）を用意することでStep1認定事業所数の増加につながった。

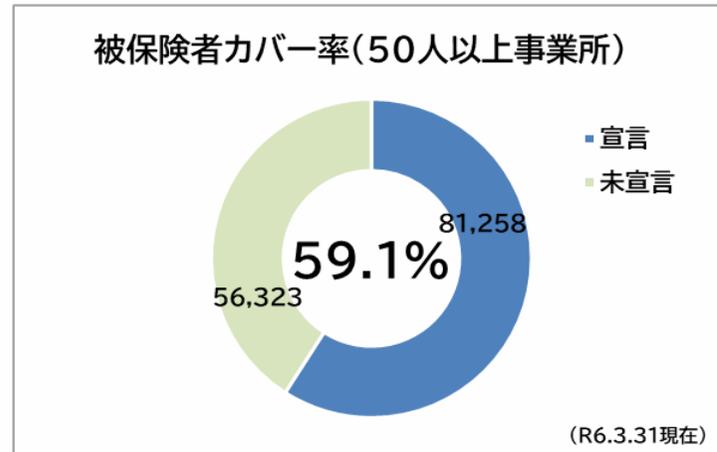
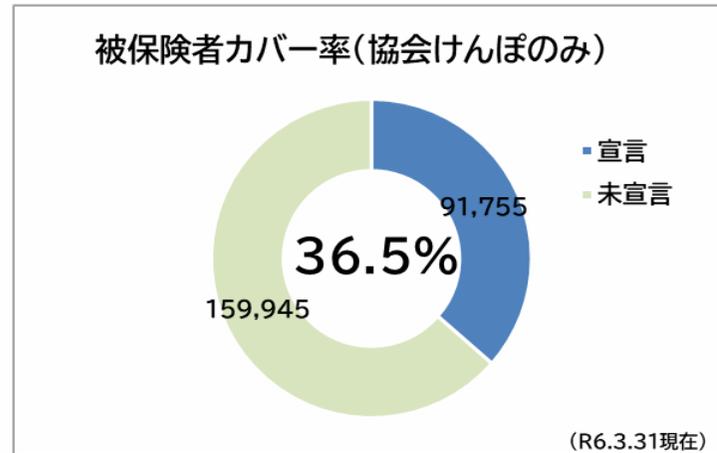
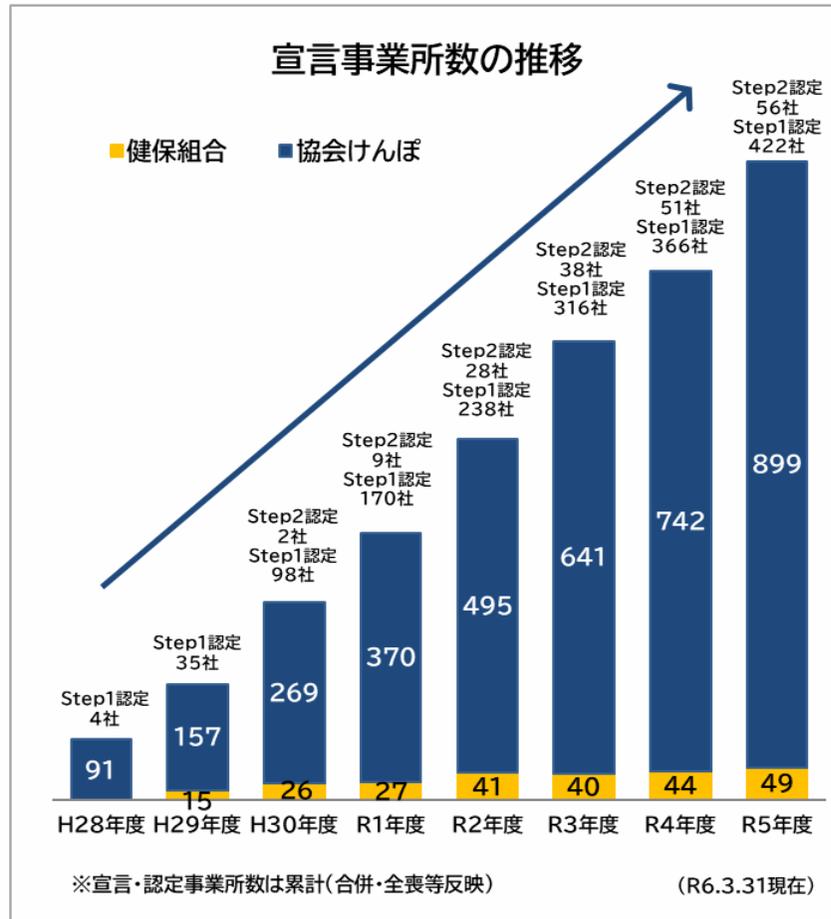


# 主な取り組み⑥ とやま健康企業宣言に係る普及啓発

## < 参考 >

宣言事業所数は大規模事業所を中心に着実に増加。

令和5年度・・・899社（健保組合含む 948社）⇒ 令和6年度目標：協会けんぽ 1,010社



## 主な取り組み⑦ 睡眠習慣の改善に向けた取り組み <シンポジウム開催>

### 事業概要

- 富山支部の睡眠習慣要改善者の割合は4年連続で全国1位（協会けんぽスコアリングレポートより）となっていることを踏まえ、県等関係機関との連携を図り、「ぐっすりとやまプロジェクト」の一環としてシンポジウムを開催。

※費用は主な取り組み⑦・⑧の合算金額

費用（予算額）

4,138千円（4,664千円）

### 実施結果

#### ●開催概要

【シンポジウム名】 ぐっすりとやまシンポジウム ～睡眠から企業の健康経営を考える～

【開催日時】 令和5年10月12日（木） 13：30～16：00

【開催形式】 会場参加とオンライン配信（YouTube）によるハイブリッド形式

※後日、アーカイブ配信を実施

【内容】 基調講演：「睡眠と企業経営」慶應義塾大学商学部教授 山本勲氏

トークセッション：勤務間インターバル制度導入や、従業員の働き方・休み方改革等に積極的に取り組んでいる企業2社から好事例を紹介。

- 参加者数：110名（会場参加：60名、オンライン参加：50名）

## 主な取り組み⑧ 睡眠習慣の改善に向けた取り組み <アンケート調査>

### 事業概要

- 睡眠休養満足度が低い要因を把握することを目的としたアンケート調査を実施。調査票には、睡眠と健康の関わりや望ましい生活習慣について周知・啓発を図るためのリーフレットを同封した。

#### <対象者>

令和3年度に特定健康診査を受診した40歳から74歳の加入者（県内在住者） 29,646人

市町村の規模に応じ、性別・年齢階級等の割合が均一になるよう無作為に抽出

※費用は主な取り組み⑦・⑧の合算金額

費用（予算額）

4,138千円（4,664千円）

### 実施結果

- 回答数：9,117件（うち有効回答数：9,103件） 有効回答率：30.7%
- 回答結果を分析中であり、7月中にプレスリリース予定。